



# 農業と自然を体験!

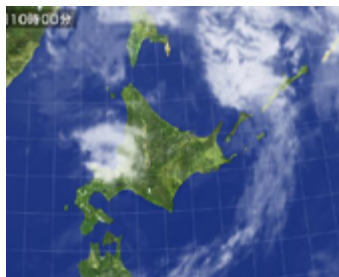
## 砥山農業小学校通信



### 楽しんだサクランボ狩り・土器造り

今回は7家族の参加です。降雨に備えてサクランボ狩りとジャム作りの順序を入れ替えてスタート。幸い午後からは雨も上がり、野菜の観察と縄文土器造りを予定通り行うことができました。

この日の降水量は小金湯で21mmでしたが、わずか2時間ほどに集中したため文字通りのどしゃ降りでした。農業は天候に大きく影響を受けるのですが、これも自然体験の一コマです。



【気象庁発表の衛星写真から転載】



【宝石のように輝くサクランボ】



【ジャガイモは約40cmほどに生長】

#### サクランボジャム作り 10:10~

砥山ふれあい果樹園にて、雨のため西本さんが用意してくれたサクランボを用いてジャム作り。500gのパックに入った真っ赤に熟したサクランボは種を取り除くと約300gです。それに20%60gの砂糖を加えて



ゆっくりと煮詰めていきます。好みで甘さを加減したりゆるく煮詰めて果肉の形を残したり家族それぞれの工夫がありました。たくさん試食して持ち帰り分が少しという家族も。

#### サクランボ狩り 10:45~

強い雨のためビニールの覆いがかかったハウスの中でサクランボを取りました。木にはつやつやとした真っ赤な実が鈴なりです。思い思いの木に分かれてサクランボを摘みました。初めて経験するお友達もいて夢中でサクランボを口に運び、たくさん味わいました。やがて「もうおなか一杯」の声も。



#### 野菜観察 12:30~



トモロコシ、ジャガイモなどの生育観察です。雨は上がりましたが畑はぬかるんでいるため草取りなどの作業はできませんでした。

トモロコシは大きなものは約50cmに、生長の思わしくないものは約半分くらいと生長にかなりばらつきがあります。8月の収穫はかなり難しいというのが先生たちの見方でした。

ジャガイモは順調な生育です。キタアカリ、男爵はほぼ花が終わっていました。アンデス

レッドも花はピークを過ぎていましたが薄紫の美しい花をいっぱい見せてくれました。



8月には収穫して試食をしますが楽しみです。

カボチャ(ハロウィン・ジャンボ)も順調な生育ぶりです。



すでに花は終わって直径3cmくらいの実をつけています。これからスタッフが摘果したり立派なカボチャが収穫できるよう

に管理してくれます。



こちらはサツマイモです。あの頼りなげで弱弱しかった苗も保温効果の高いマルチに助けられて元気に根付いていました。収穫は10月です。他にタマネギや枝豆も順調で安心しました。

#### 縄文土器造り 13:00~



粘土はスタッフが八剣山果樹園の池から採取して水切りなどを済ませ、約1kgの三角の塊にしてあります。まず頭部5cmほどを切り取り、後で器の底部として使います。残った塊を1cmくらいの厚さに伸ばして6等分。これを掌でひも状に伸ばして先に取り分けしていた底の部分



に圧着しながら巻き付けます。ここが難しかったよう。これを繰り返して、木べらを使いながら成形して縄目などの模様を付けて完成です。



7月10日の活動



ジャムはまず種とりから



作業しながら心の交流も



家族で作業に集中です



呼吸もぴったり



脚立を使うと高いところに届きます



お父さん大好きです



家族の絆



ジャガイモは元気です



元気なタマネギを前にして



パネルで土器造りの説明



粘土をひも状に



両側に持ち手を付けてみました



最後の仕上げに入っています



上を四角に斬新な形



こちらはフタ付きです



作り終わった満足感

参加者の声

子供が土に触れる機会を通して食べ物に関心を持ってほしいと思っています。親子で一緒に出掛ける機会がなかったのでこうして一日長い時間を子どもと一緒にいれて同じ体験ができることはすごくいいかなと思っています。また自宅でも少しジャガイモを植えているのですが、こちらの方がすごく大きくなっていたので作り方が違うのかなと思いました。プロの方と一緒にやるというのができそうな感じがするので家族で楽しみです。

齋藤真由美さん

発行: 砥山農業小学校 (代表 桜井学)  
住所: 〒061-2275  
札幌市南区砥山126番地  
八剣山果樹園内  
電話・FAX: 011-596-2280  
E-mail: info-h@hakkenzan.jp  
<http://www.hakkenzan.com/nosyo/>